

Technics[®]



取扱説明書
スピーカーシステム
SB-G90

音楽は、国を越えて、世代を越えて、

人の心を揺さぶり続けます。

そして時代はいつも、

新しい感動を求めています。

まだ経験したことのない音との出会い。

音楽を愛するすべての人に、

再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music™

Technics

最高水準の感動を、
世界へお届けできる時がきました。

Technics は、音と人との関係を大切に思い、
音楽を愛するすべての人に音楽の感動を提供し続け、
世界中の音楽文化の発展に貢献したいと考えています。
これが私たちの掲げたフィロソフィーです。
音をめぐる数々の出会いと経験が凝縮された今ここに、
Technics の理想をめざす、という確信が生まれました。
すべてにおいて最高クラスの品格と完成度をめざし、
世界中の人々から、憧れを抱いていただける、
幸せを感じていただけるブランドでありたいと願っています。

ディレクター
小川理子

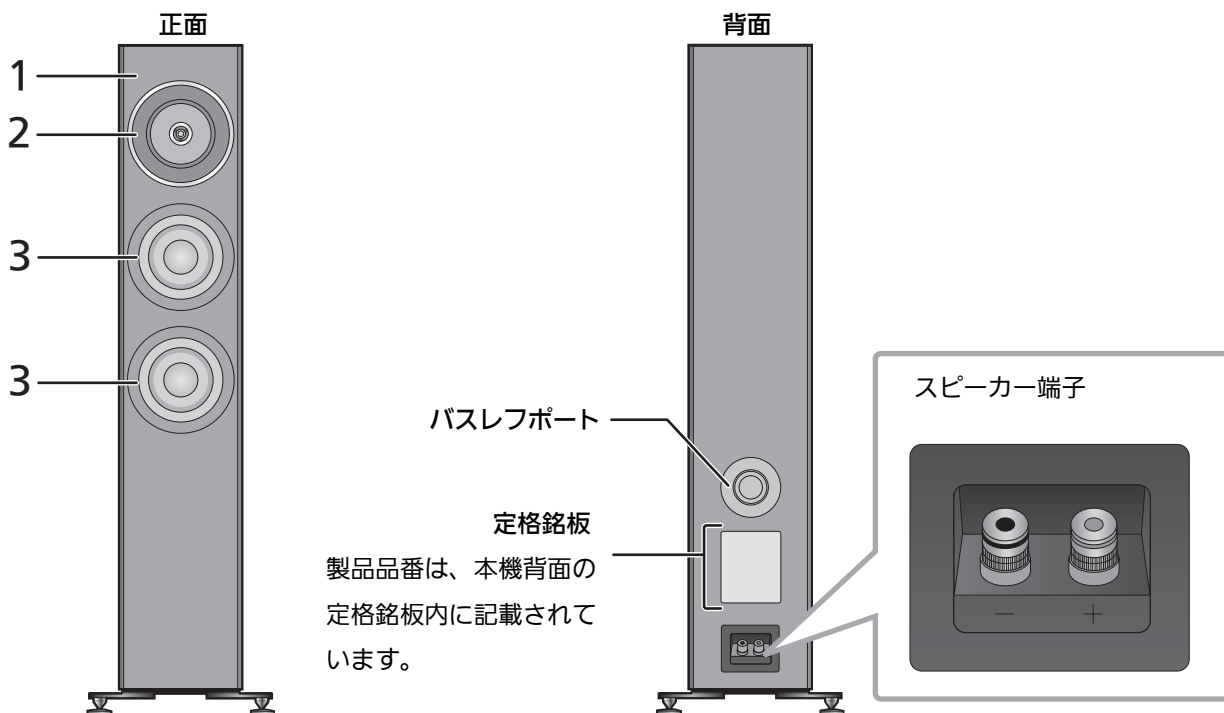
A handwritten signature in black ink, reading "Riko Ogawa". The signature is fluid and cursive, with a long horizontal stroke extending to the right.

はじめに

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(08～09 ページ) を必ずお読みください。**
- 保証書(別添付)は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■ 各部の名称と本機の特長



1 重心マウント

スピーカーユニットをその重心位置でキャビネット内部に設けたサブバッフルに取り付けることでスピーカーユニット自身の振動を抑えることができます。また、前面のバッフルにスピーカーユニットを取り付けていないため、スピーカーユニットからバッフルに伝わる不要振動を抑制することができます。そのことにより、低域から超広域まで音抜け・粒立ちのよいリアルで広大な音場を表現することができます。

2 同軸2ウェイユニット

新開発の中高域用ユニットは上位機種の特許思想、リニアフェーズ思想を継承した同軸2ウェイで構成されています。この構成により、明瞭な音像定位を実現し、演奏を明確に描き分け立体的な音場を再現できます。

3 低歪ロングストロークウーハー

ダブルマグネット、ロングボイスコイル、銅リング等を採用したウーハーを2機搭載しています。それにより、大振幅まで低歪みでレスポンスに優れた低域再生を実現します。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(08 ～ 09 ページ)

付属品	10
設置のしかた.....	11
スタンドベースの取り付け	12
スパイクを使用して設置する場合	14
ゴム脚を使用して設置する場合	16
転倒防止について	17
接続のしかた.....	18
スピーカーコードを接続する	18
アンプと接続する	19
スピーカーネットを取り付ける	20
その他.....	21
使用上のお願い	21
本機のお手入れ	21
仕様	21
保証とアフターサービス	22

■ 推奨機器について

よりよい音質でお楽しみいただくため、当社製機器（別売）をお勧めします。

品名	品番
ステレオインテグレートッドアンプ	SU-G700
ネットワークオーディオアンプ	SU-G30

■ 本書内の表現について

- 参照していただくページを（⇒ 00）で示しています。
- イラストが実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



分解禁止

分解、改造をしない

破損や火災の原因になることがあります。



ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない
高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。



小物部品をお子様の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
万一飲み込んだ場合には、ただちに医者と相談してください。



天井から吊り下げたり、壁に掛けたりしない

落ちてけがの原因となる場合があります。



背面のバスレフポートの穴にも物を入れない

火災やけがの原因になります。

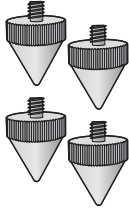
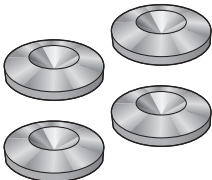
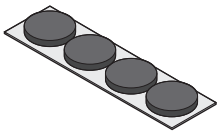
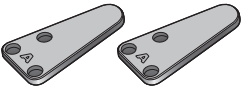
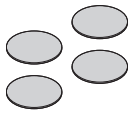
● 特にお子様にはご注意ください。



注意

	本機の上に乗ったり、ぶら下がったりしない 倒れたり壊れると、けがの原因になることがあります。
	音が歪んだ状態で長時間使用しない スピーカーが発熱し、故障や火災の原因になることがあります。
	本機の上に重いものや、大きなものを置かない 倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
	スピーカー前面振動板部に触れない 振動板がゆがみ正しい音が出なくなることがあります。
	乳幼児など、お子様を本機に近づけさせない 倒れると、けがの原因になることがあります。
	異常に温度が高くなるところに置かない - 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。 - また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。
	油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
	磁気の影響を受けやすいものを近づけない 本体およびスピーカーネットには、強力なマグネットが使用されております。 キャッシュカードや定期券、時計などが正しく動かなくなることがあります。
	背面のバスレフポートの穴に手を入れない けがの原因になります。 特にお子様にはご注意ください。
	スピーカーの許容入力を超えるアンプに接続しない スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。
	スピーカーの設置や移動は必ず2人以上で行う 落下すると、けがの原因になることがあります。
	転倒防止の処置をする 大きな地震の場合などに倒れると、けがの原因になることがあります。
	スタンドベースをスパイクあるいはゴム脚のどちらか一方とともに必ず取り付けて使用する 倒れてけがの原因になることがあります。

付属品

スパイク : 4 個 (品番 TBLA40861) 	スパイク受け : 4 個 (品番 TYL0079) 	ゴム脚 : 4 個 (品番 TBLG32691) 
スタンドベース A: 2 個 (品番 TBLA40852) 	スタンドベース B: 2 個 (品番 TBLA41091) 	スタンドベース用ねじ : 12 本 (品番 THEL155Z) 
スペーサー : 4 個 (品番 TMKK653) 	スピーカーネット : 1 枚 (品番 TTJ0006-A) 	クリーニングクロス : 1 枚 (品番 TXFPE01LHUU) 

※スタンドベースをスパイクあるいはゴム脚のどちらか一方とともに必ず取り付けてご使用ください。

- 付属品の品番は、2017年2月現在のものです。変更されることがあります。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本機にはスピーカーコードは付属していません。接続には市販のスピーカーコードをご使用ください。

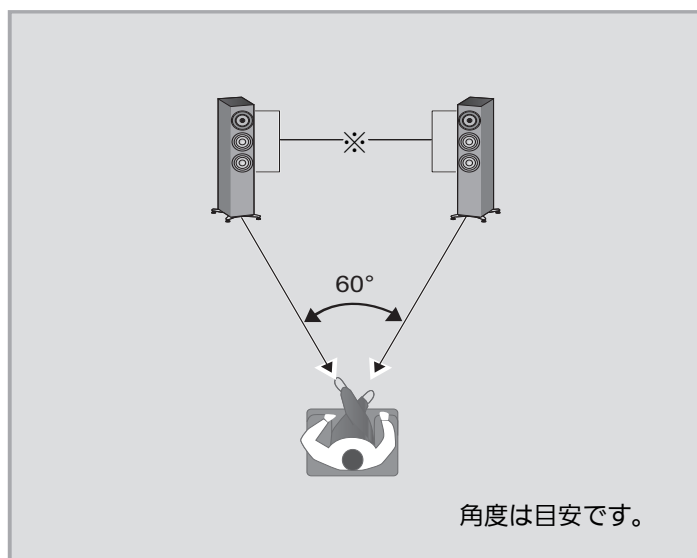
付属品や別売品 (⇒ 07) は販売店でお買い求めいただけます。
 パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」
 でお買い求めいただけるものもあります。
 詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



設置のしかた

例：



- スピーカーの設置や移動は必ず 2 人以上で行ってください。
- スピーカーユニットには触れないでください。正しい音質が得られないことがあります。
- リスニング位置から同じ距離に左右のスピーカーを設置するのが理想です。
- 本機は、背面のバスレフポートからも低音を出しています。背面のバスレフポートをふさがないように壁から 5 cm 以上離して設置してください。
- アンプなどとスピーカーは 1 cm 以上離してください。

■ よりよい音響効果を得るために

本機の設置場所、リスニング位置、部屋の状態などによって、低音の質や量、音の定位、臨場感など、音質に変化が生じます。以下のことを参考にして設置してください。

設置場所を決める

- 本機の質量は約 32 kg です。設置場所がこの質量に十分耐えられることを確認ください。
- 転倒防止が必要な場合は施工業者にご相談ください。床や壁の強度確認が必要です。(⇒ 17)
- 平らで安定した場所に、ぐらつきのないように設置してください。
設置時にがたつきがある場合は、スペーサーを使用してください。(⇒ 15、16)
- 左右のスピーカーの周りの音響条件（反射、吸音）をそろえて、左右の音質差が少なくなるように設置してください。

スピーカーの背面と壁の距離を調整する

スピーカーを壁やコーナーに近づけて設置すると低音が増えます。ただし近づけすぎると音がこもったり、音の定位や臨場感が低下することがあります。そのような場合には、30 ～ 60 cm（側壁の場合はそれ以上）を目安として、本機と壁との距離を調整してください。

- スピーカーを無理に引きずらないでください。スピーカーや床面に傷がつく原因となります。

スピーカーの角度を調整する

本機正面をリスナーの方向に向けることで、より明確な音像定位が得られやすくなります。

部屋の音響および設置のしかたを調整する

部屋の状態（部屋のサイズや形状、壁までの距離、残響音の強弱など）によっては、特定の音が強め合ったり、また弱め合ったりして聴きづらくなることがあります。そのような場合には、本機の設置場所やリスニング位置を変化させたり、壁やガラスに厚手のカーテンを掛けて、部屋の残響音を調整したりすることで改善される場合があります。

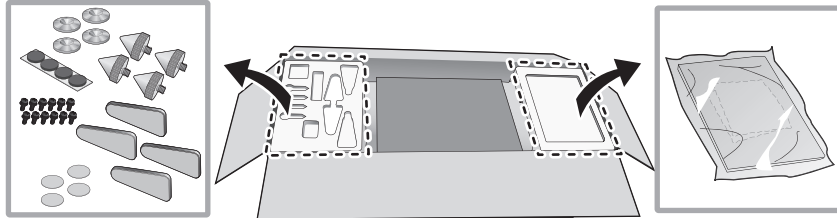
- スパイクを使用することで、より音質が向上する場合があります。(⇒ 14)

設置のしかた (続き)

スタンドベースの取り付け

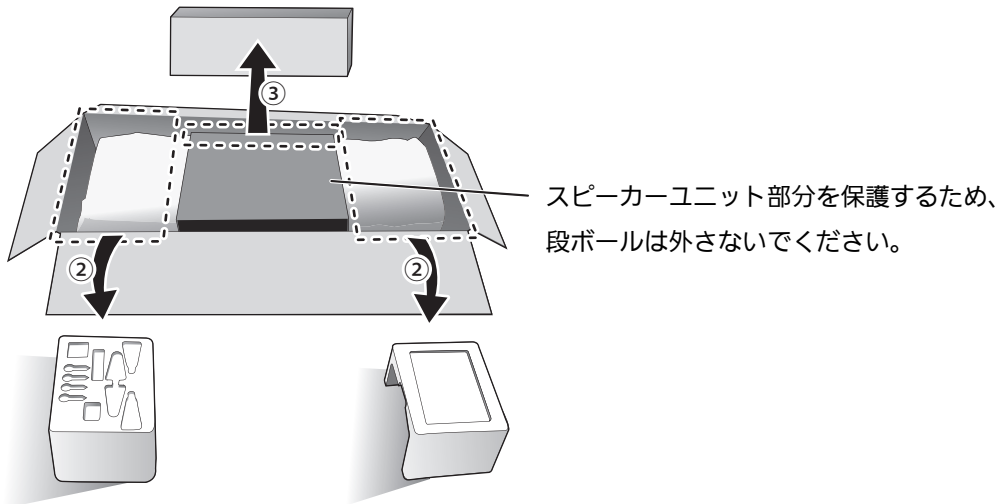
① 付属品を取り出してください。

- 付属品を発泡スチロールから取り出し、お子様の手の届かないところへ置いてください。



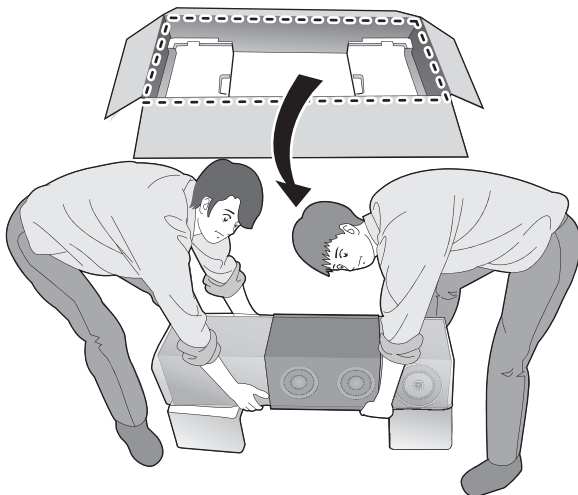
② 発泡スチロールを作業のしやすい場所に置いてください。

③ スピーカーネットの包装箱を取り出してください。

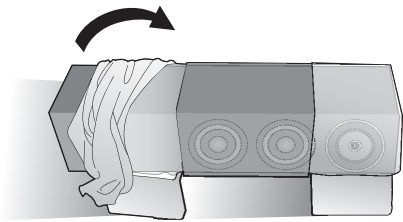


④ スピーカーを手順②で取り出した発泡スチロールの上に置いてください。

- スピーカーを持ち上げるときは以下にお気をつけください。
 - － 手がすべらないように下側を持つ



- ⑤ スピーカー下側の保護袋 (2 枚) をめくってください。

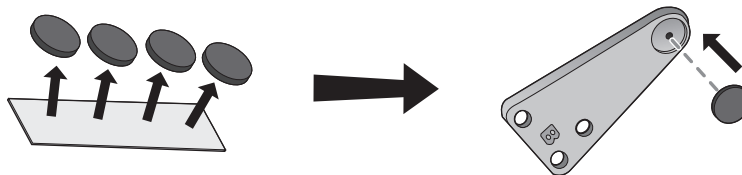


- ⑥ スタンドベース (4 個) を、付属のねじでしっかりとスピーカーに取り付けてください。

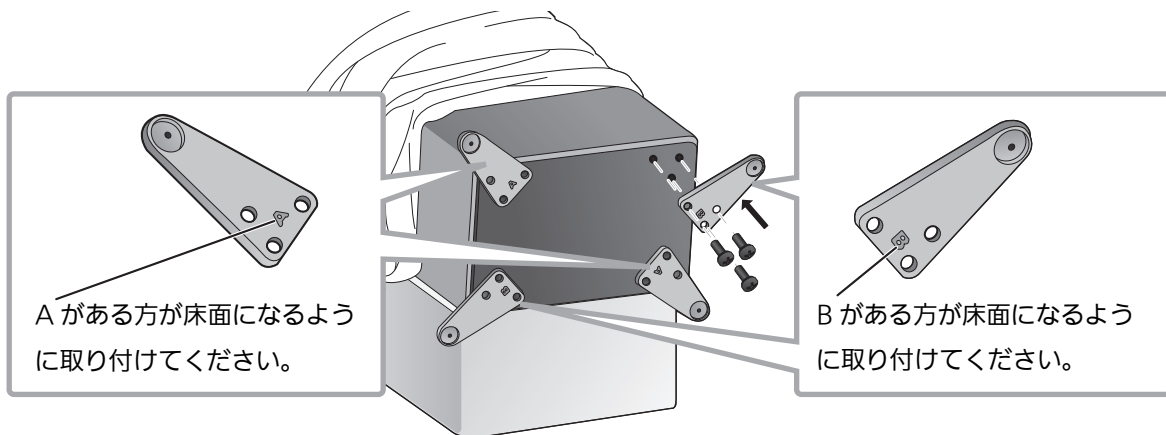
ゴム脚を使用して設置する場合

あらかじめスタンドベースの溝にゴム脚 (4 個) を取り付けてください。

- ゴム脚は台紙からはがして、接着面に触らないでスタンドベースにしっかり押さえ込んでください。



- 3 本のねじを手で軽く仮止めしたあとに、ドライバーを使ってしっかりとねじを締めてください。



- 取り付けたあと、スタンドベースががたつかないか確認してください。

スパイクを使用して設置する場合 (⇒ 14)

ゴム脚を使用して設置する場合 (⇒ 16)

設置のしかた (続き)

スパイクを使用して設置する場合

スパイクを使用することで、より音質が向上する場合があります。

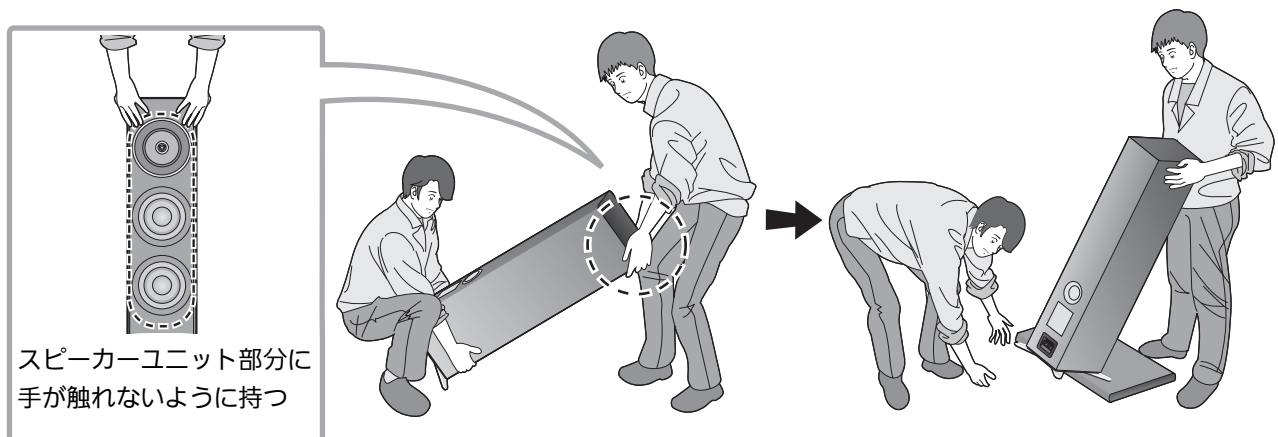
- 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。
本取扱説明書で指示した以外の取り付けは行わないでください。
- スピーカーは約 32 kg の質量があります。傾けながらスパイクの取り付け作業を行うときは必ず 2 人以上で作業してください。スパイクを取り付ける際には、スピーカーと床の間に指や足先を挟んだり、スピーカーが倒れないようにお気をつけください。また、スピーカーを傾ける際は床の傷つき防止のため、必ずスピーカーを傾ける側に厚手のマットなどを敷いてください。
- スパイク 1 個当たり約 8 kg 以上の質量がかかります。そのため、設置場所に跡やくぼみができる場合があります。傷つきを防ぐため、付属のスパイク受けを使用する、または 1 個当たりの接地の面積が大きく十分強度のあるスパイク受けをご用意ください。
- スパイクを使用したままでスピーカーを移動すると、床に傷がつく原因になります。設置場所を移動する前にスパイクを取り外してください。

床を傷つけないように厚手のマットなどを 2 枚用意し、開封場所と設置場所にあらかじめ置いてください。

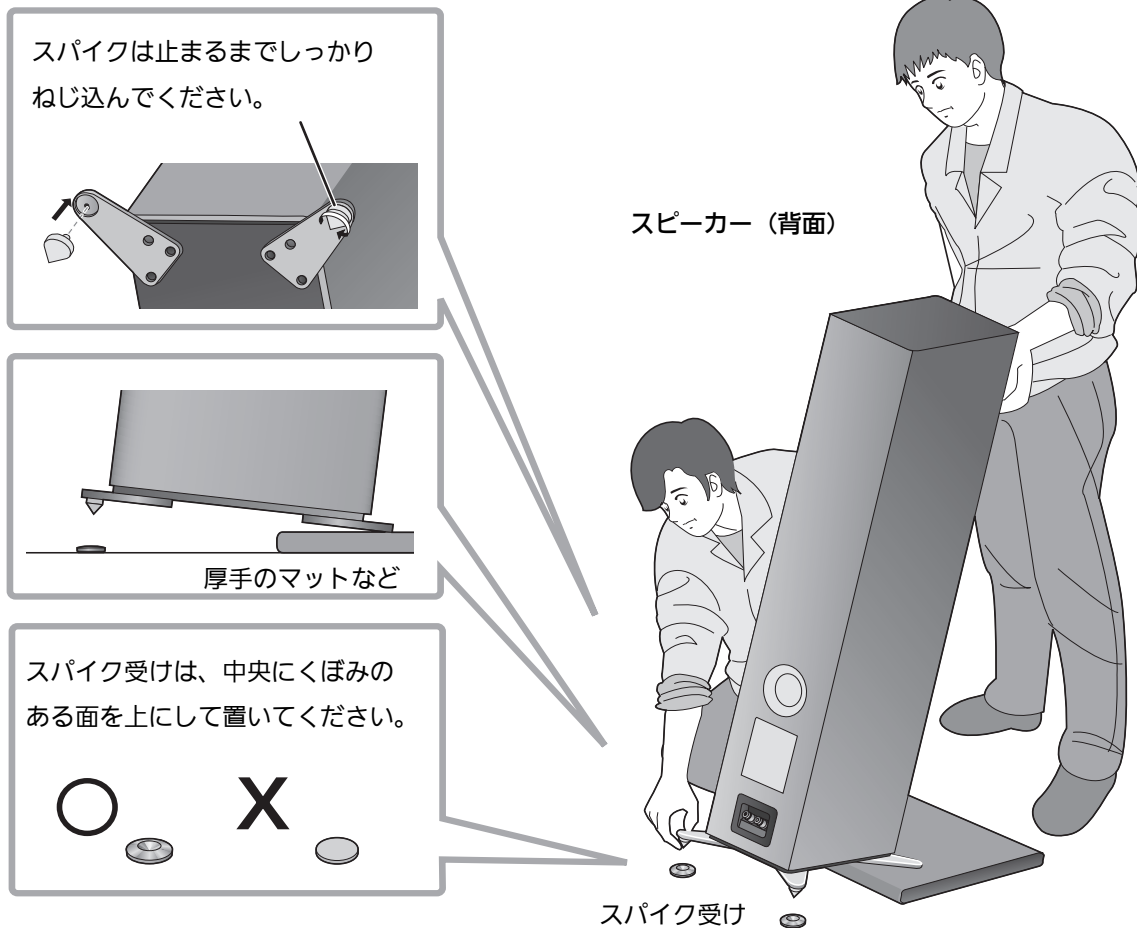
- ① 厚手のマットなどの上にスピーカーを立ててください。



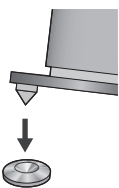
- ② スピーカーにかぶせている保護袋 (2 枚) と段ボールを外してください。
- ③ スピーカーを前方に傾けながら設置場所に運び、厚手のマットなどの上に置いてください。



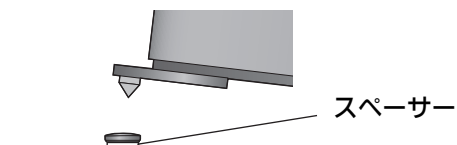
- ④ スピーカーを前方に傾け、後方のスタンドベース 2 か所にスパイクをねじ込みます。
スパイク受けを使用する場合は、スパイク受けをスパイクの下に置きます。



- ⑤ スパイクの先端とスパイク受けのくぼみを合わせながら、ゆっくり戻してください。



- ⑥ 手順④と同様に、スピーカーを後方に傾け、厚手のマットなどを外してください。
⑦ 前方のスタンドベース 2 か所に、スパイクをねじ込みます。
スパイク受けを使用する場合は、スパイク受けをスパイクの下に置きます。
⑧ がたつきがある場合は、スパイク受けの下にスペーサーを設置してください。



設置のしかた (続き)

ゴム脚を使用して設置する場合

あらかじめスタンドベースの溝にゴム脚 (4 個) を取り付けてください。(⇒ 13)

- 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。
本取扱説明書で指示した以外の取り付けは行わないでください。
- スピーカーは約 32 kg の質量があります。必ず 2 人以上で作業してください。スピーカーと床の間に指や足先を挟んだり、スピーカーが倒れないようにお気をつけください。
- ゴム脚 1 個当たり約 8 kg 以上の質量がかかります。そのため、設置場所に跡やくぼみができる場合があります。
- 床に置いたままでスピーカーを移動すると、ゴム脚が剥がれる原因になります。
設置場所の移動は、必ず 2 人以上でスピーカーを持ち上げて行ってください。

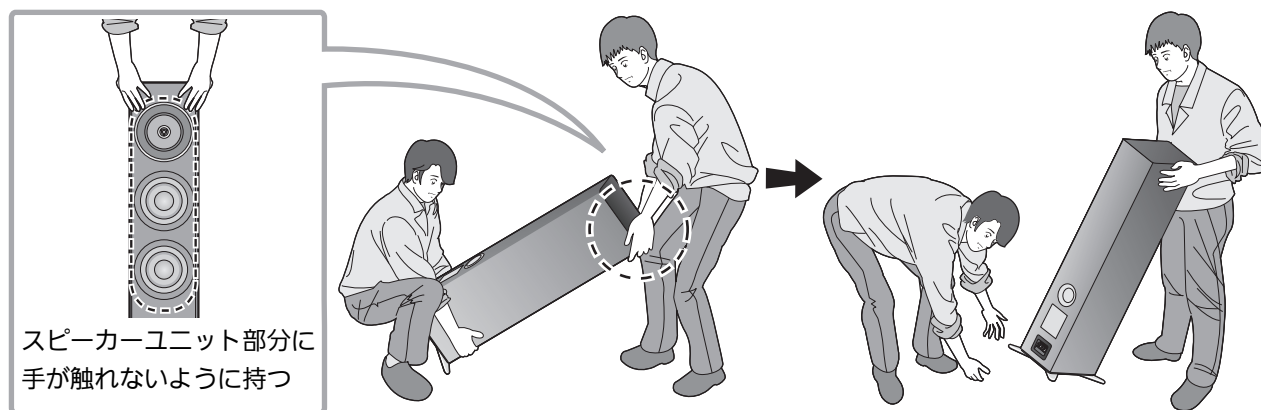
床を傷つけないように厚手のマットなどを用意し、開封場所にあらかじめ置いてください。

① 厚手のマットなどの上にスピーカーを立ててください。

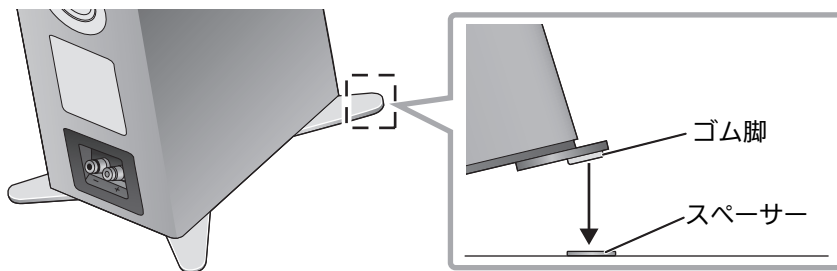


② スピーカーにかぶせている保護袋 (2 枚) と段ボールを外してください。

③ スピーカーを前方に傾けるように持って、設置場所に運んでください。



④ 設置後がたつきがある場合は、ゴム脚の下にスペーサーを設置して、設置面とゴム脚のがたつきをなくしてください。



転倒防止について

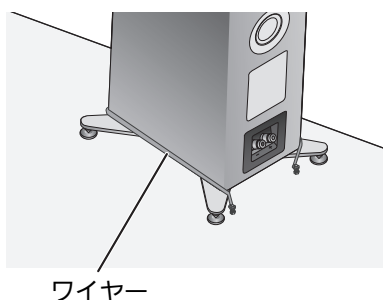
大きな地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒防止処置をしてください。

本機の質量は約 32 kg です。設置面がこの質量に十分耐えられることを確認ください。

詳しくは施工業者にご相談ください。

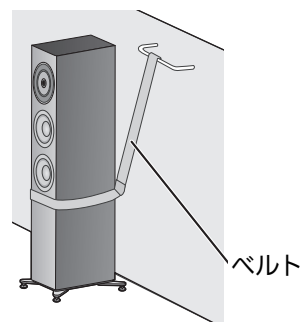
■ 床面などに固定する場合

図のように本機をワイヤーなどで床面に固定してください。



■ 壁面などに固定する場合

図のように本機にバンドなどを巻き付けて、丈夫なひも、または鎖などでしっかりした壁や柱につないでください。



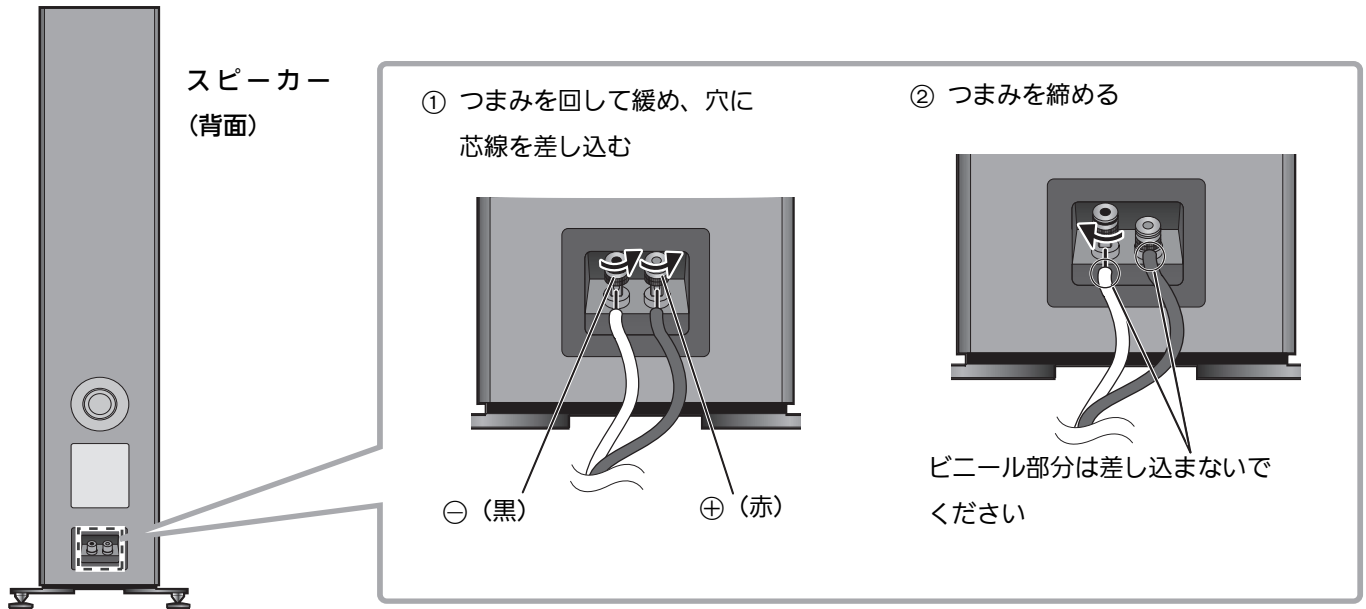
お知らせ

- 上記の内容は、すべての地震などに対して、その効果を保証するものではありません。
また、転倒防止処置にともなう本機や設置面の損傷などに対して、当社は一切の責任を負いません。
- スパイクをご使用になる場合は、本機は転倒に対して不利になります。

接続のしかた

スピーカーコードを接続する

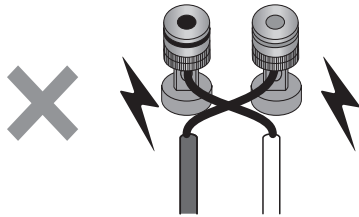
本機にはスピーカーコードは付属していません。接続には市販のスピーカーコードをご使用ください。



スピーカーコードが接続しにくい場合は、いったんつまみを外してから接続してください。

お願い

スピーカーコードをショートさせないでください。アンプの回路が破損するおそれがあります。

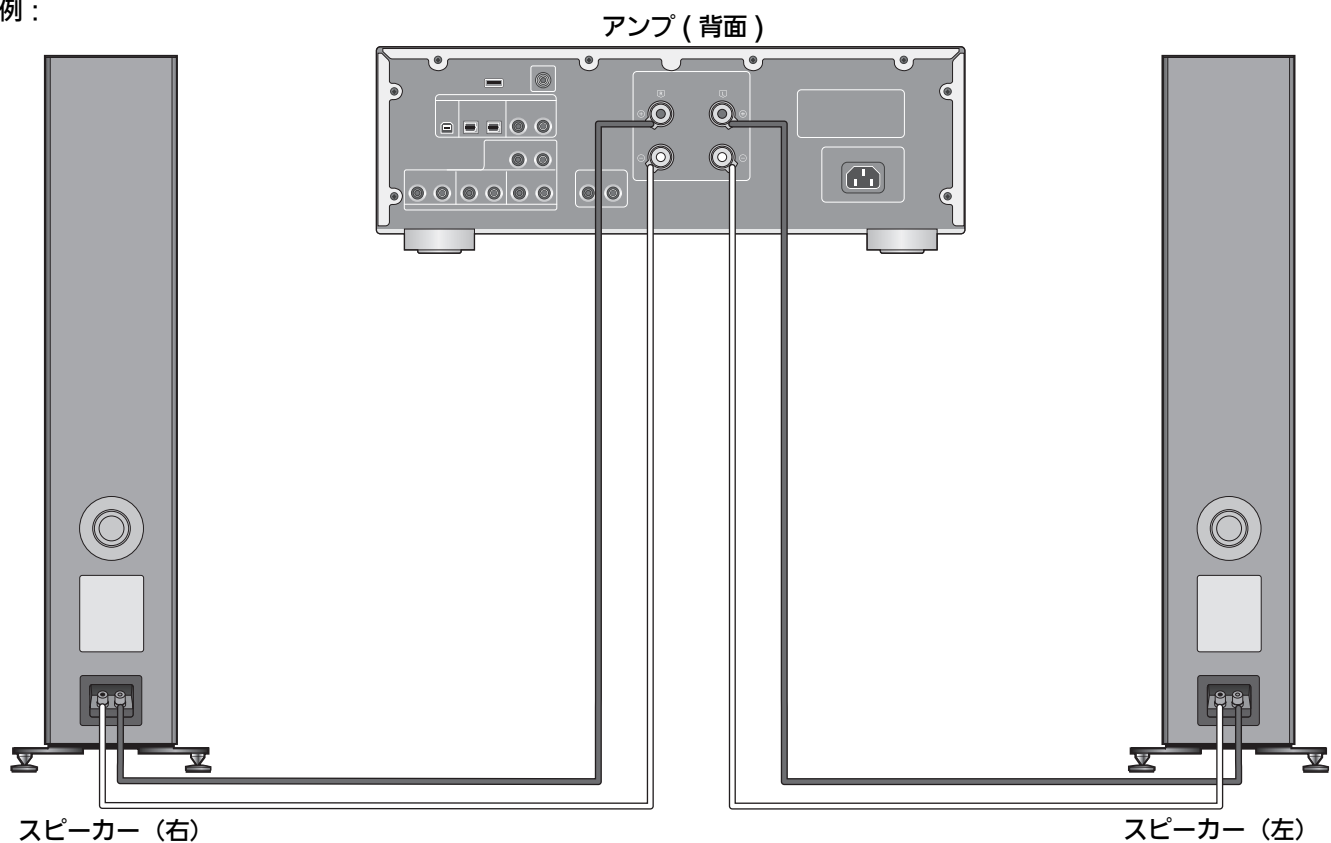


アンプと接続する

- 接続の前にアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- アンプの接続や操作方法の詳細については、アンプの説明書をご覧ください。

アンプとスピーカーをスピーカーコード（市販品）で接続する

例：



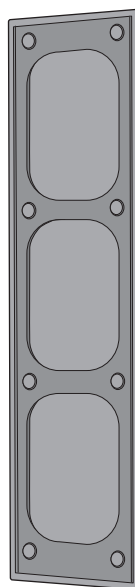
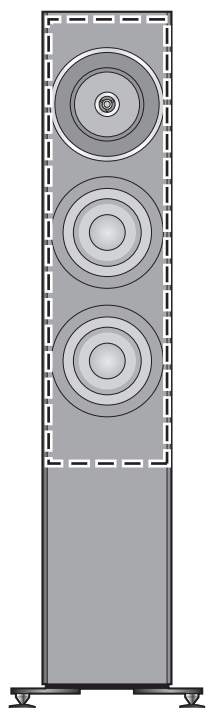
お知らせ

- スピーカーコードを接続した状態でスピーカーを移動しないでください。ショートなどの原因になることがあります。
- 接続が終わったら、スピーカーコードを軽く引っ張り、確実に接続されているか確認してください。
- 端子への接続は+、-を正しく接続してください。誤って接続した場合、正常なステレオ効果を得られなかったり、故障の原因となる場合があります。

スピーカーネットを取り付ける

本機は、スピーカーユニットをほころから保護するスピーカーネットを付属しています。
スピーカーネットは、マグネットでスピーカー本体に固定されます。

スピーカー（前面）



スピーカーネット（背面）

お知らせ

- 再生時にスピーカーネットを外した状態でご使用になると、より高音質でお楽しみいただけます。

その他

使用上のお願い

スピーカーを過大入力による破損から守るため、下記の注意事項をお守りください。

- 通常の使用時でも以下のような場合には、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてください。
 - － 再生音が歪んだとき
 - － マイクやレコードプレーヤーのハウリング音、FM放送の局間ノイズ、発振器やテストディスク、電子楽器など、大きな信号が連続して加わる時
 - － 音質調整をするとき
 - － 電源ボタンを入 / 切するとき
- グラフィックイコライザーなどで高音を増強する場合、音量を上げすぎないでください。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さないでください。（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがあります）
- 大きな音量で連続して使用しないでください。スピーカー特性の劣化や寿命が極端に短くなる原因になることがあります。
- ご使用中はスピーカー端子に手などを触れないでください。使用条件によって高い電圧がかかることがあります。

■ 廃棄するとき

本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

本機のお手入れ

付属のクリーニングクロスで拭いてください。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。

ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤、化学雑巾は塗装がはげたり、変質する可能性がありますので使用しないでください。

仕様

形式

3ウェイ 4スピーカー バスレフ型
(同軸 2ウェイ ミッドレンジ / ツイーター内蔵)

使用スピーカー

ウーハー

16 cm コーン型 × 2

ミッドレンジ / ツイーター

同軸 16 cm コーン型 × 1 / 2.5 cm ドーム型 × 1

インピーダンス

4 Ω

許容入力 (IEC)

200 W (MAX)

100 W (RATED)

出力音圧レベル

88 dB (2.83 V/m)

85 dB (W/m)

再生周波数帯域

27 Hz ~ 100 kHz (-16 dB)

32 Hz ~ 85 kHz (-10 dB)

クロスオーバー周波数

480 Hz、3.2 kHz

外形寸法 (幅×高さ×奥行)

スパイク使用時

302 mm × 1114 mm × 375 mm

ゴム脚使用時

302 mm × 1093 mm × 375 mm

質量

約 32 kg

許容動作温度

0 °C ~ 40 °C

許容相対湿度

20 % ~ 80 % RH (結露なきこと)

注：この仕様は、性能向上のために変更することがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話（ ） -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

スピーカーコードを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	スピーカーシステム
品番	SB-G90
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>

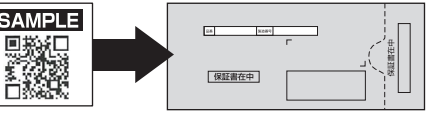
使い方・お手入れなどのご相談	修理に関するご相談
DIGA (ディーガ)・オーディオご相談窓口 フリーダイヤル パナは キュウハチニ 0120-878-982 受付時間 9:00~20:00 (年中無休) ■上記電話番号がご利用 いただけない場合 06-6907-1187 ■FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236 Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)	修理ご相談窓口 フリーダイヤル パナは イイヨ 0120-878-554 ■上記電話番号がご利用 いただけない場合 03-6633-6700 ■FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-225 便利な修理サービスサイト http://club.panasonic.jp/repair/

- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックの会員サイト「 CLUB Panasonic 」で「 ご愛用者登録 」をお願いします	
家電情報をまとめて登録管理 抽選で商品券などが当たる	詳しくはこちら http://club.panasonic.jp/aiyo/
● 保証書用封筒に記載されている QRコードから登録していただくと、 品番登録と製造番号を入力する必要がなく、 簡単に登録いただけます	QRコード SAMPLE 

- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

パナソニック株式会社

ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2017

TQBM0082
F0217AY0

